

BSアンテナを見て≡真南が分かる！

方位を知るために以前は方位磁針を使っていましたが、実は地球も大きな磁石であることから、磁北(磁石による北)と真北(真太陽時における北)では大きな角度の差が生じています。日本では西偏角があって磁北は真北より西側に、北海道では7~10度、本州では6~8度もの誤差があるので建築計画の利用としては相応しくありません。現在はGPS利用のWeb地図情報やカーナビによって誰にでも簡単に計画敷地の方位を正確に知ることができ、国土地理院発行の1/2500地図や法務局にある1/500公図でも更に詳しく確認できます。

初めて計画敷地に行くときは最低限、案内図と測量図を持ちますが、いざ現地立って周囲を見渡すと道路の位置関係や近隣建物の向きに惑わされて、正確な方位を見失っている建て主は大変多いことと思います。(真実は一つだけですヨ!)こんなとき、日本中どこに行っても手ぶらで≡真南を知る方法を紹介しします。まず、自分が方位を知りたい場所の近隣にあるBSアンテナの向きを見ます。そのアンテナ方向から東日本では45度、西日本は40度、九州・四国は35度、東方向が≡真南向きです。つまり、四角い家でその一辺の向きがBSアンテナと同じ場合は「南西か南東向きの家」であり、この「誤南の家」は当然、夏・暑く、冬・寒いので光熱費が高むことになります。



BSアンテナから東側へ

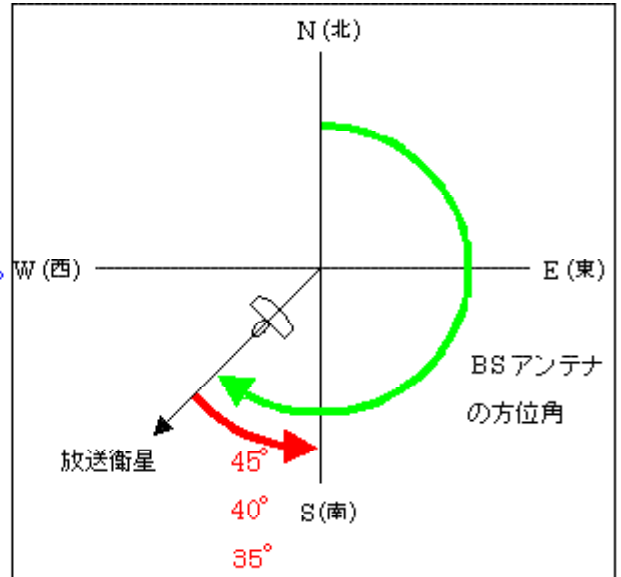
東日本： 45度

西日本： 40度

九州・四国： 35度

が≡真南になっています。

まずは試しにご自宅や勤務先の方角を確認してみましょう！



東側に 45・40・35度が各地域での≡真南

《主な都市でのBSアンテナの方角》 *もっと詳しく知りたい方へ

都市名	方位角	都市名	方位角	都市名	方位角	都市名	方位角	都市名	方位角	都市名	方位角	都市名	方位角	都市名	方位角
稚内	220.9	函館	221.7	福島	223.9	東京	224.4	岐阜	221.0	大阪	220.2	福山	217.2	佐賀	214.0
北見	224.1	八戸	223.4	郡山	224.0	長野	221.9	名古屋	221.5	神戸	219.6	広島	216.2	熊本	214.9
釧路	225.1	青森	222.3	いわき	224.9	横浜	224.5	浜松	222.7	姫路	218.8	高知	218.2	佐世保	213.2
旭川	222.5	弘前	222.1	新潟	222.1	松本	221.9	豊橋	222.3	米子	216.7	松山	217.0	宮崎	216.6
帯広	223.9	盛岡	223.4	水戸	224.8	富山	220.7	津	221.2	和歌山	219.9	山口	215.0	長崎	213.8
岩見沢	222.2	秋田	222.2	宇都宮	224.0	甲府	223.0	京都	220.1	松江	216.3	下関	214.4	鹿児島	215.6
札幌	221.7	仙台	224.0	千葉	224.9	金沢	220.1	大津	220.2	岡山	217.9	北九州	214.3	那覇	215.8
小樽	221.3	鶴岡	222.5	前橋	223.1	静岡	223.3	奈良	220.4	徳島	219.2	大分	215.9	石垣島	212.0
室蘭	221.8	山形	223.4	浦和	224.2	福井	219.9	鳥取	217.8	高松	218.4	福岡	213.9		

※我が国の放送衛星:BS(broadcasting-satellite)は、静止衛星特有の食とケプラーの法則により東経110度、赤道(インドネシアのカリマンタン島西端、カプアス川の河口付近)上空、35759kmのところで地球の自転周期と同一の公転周期となる衛星として周回しています。